



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2016年(平成28年)3月5日号 No.1687

目次

■「日ロ貿易・産業対話」開催される	1
■統計速報	10
2016年1月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／10	
2016年1月の日ロ貿易／11	
■モスクワほっとニュース	12
モスクワの水族館／12	
■トピックス	13
プライメタルズ、ロシア・メーカーから設備を受注／13	
JA庄内みどりがロシアに桜を初輸出／14	
経産省、ロシア産業・商業省と覚書を締結／14	
北海道企業がサハ共和国で温室栽培事業／14	

「日ロ貿易・産業対話」開催される

はじめに

2016年2月29日～3月1日、東京の虎ノ門ヒルズにおいて「日ロ貿易・産業対話(以下、会議)」が開催された。マントウロフ・ロシア連邦産業・商業大臣が来日した機会を捉えて開催されたものであり、ロシアNIS貿易会ではこの行事を、JETRO、経団連、ロシア産業・商業省とともに共催した。

会議には日ロ双方から総勢約500人のビジネス関係者や政府関係者が参加し、日ロ間の共同プロジェクト、製造業、医療・製薬、インフラ整備などをテーマに報告が行われた。また、全体会合にはマントウロフ大臣が出席し、冒頭で挨拶を述べるとともに、パネルディスカッションにて参加者の質問に答えた。ここで改めて、ご参加いただいた皆様に御礼申し上げます。

本速報では、いち早く、会議の概要、プログラム、日ロ双方の大臣の挨拶(日本側は代読)をお伝えする。本会議の詳細は別途、『ロシアNIS調査月報』2016年5月号(2016年4月20日発行)にて取り上げる予定なのでご参照いただきたい。

2月29日の会議では、はじめに分科会第一部として第1分科会「日ロ間における共同プロジェクト：新たな機会と展望」と第2分科会「製造分野におけるイノベーション：日本企業の経験」が平行開催された。そして、分科会第二部として第3分科会「医療・製薬分野における協力」と第4分科会「インフラ近代化分野における日ロ協力」が行われた。その後、全体会合が執り行われ、日ロ双方の大臣の挨拶とパネルディスカッションが執り行われた。3月1日は分科会第三部としてロシア工業団地協会特別分科会「ロシアにおける日本企業の生産現地化：新たなトレンドと諸制度」が行われた。